

|  |                           |      |                    |       |      |
|--|---------------------------|------|--------------------|-------|------|
| 科目名  | 芸術批評論                     |      |                    | 科目コード | 1306 |
| 開講学科   | 文芸学科                      | 単位数  | 4                  | 形態    | 通信   |
| 教員名  | 田之頭一知、重政隆文、出口逸平、木村和実、笹谷純雄 |      |                    |       |      |
| 授業の目的及びテーマ   |                           |      |                    |       |      |
| <p>文学以外の芸術ジャンルとして、映画・演劇・音楽・絵画・彫刻を取り上げ、その原理や批評、歴史と現実などといった事柄に対する理解と認識の深化を目的とし、芸術批評の多面的な考察をテーマとする。</p>   |                           |      |                    |       |      |
| 授業概要   |                           |      |                    |       |      |
| <p>本授業は『芸術批評論』をテキストとし、それを読み進める形で授業を展開する。そもそも芸術批評と呼ばれる活動はカバーする範囲が広く、一つひとつの芸術作品の価値評価を指す場合は言うに及ばず、芸術の本質を扱った芸術論も、芸術批評に含めて考えることができる。というのも、批評活動のポイントは対象の特徴を見極めてそれについて判断を下すことにあるからである。したがって、芸術批評は広く芸術を主題として論じた言説を指すと言っても過言ではない。このことを踏まえて本授業では、テキストの講読を通して、芸術批評を執筆する際に必要となるさまざまな「ものの見方」を検討してゆく。</p>  |                           |      |                    |       |      |
| 授業計画   |                           |      |                    |       |      |
| <p>第 1 回：美そして芸術——芸術批評へ向けて①（「はじめに」～第 1 項「美について」）<br/> 第 2 回：美そして芸術——芸術批評へ向けて②（第 2 項「芸術について」～第 3 項「芸術批評へ向けて」）<br/> 第 3 回：映画論・映画批評①（第 1 項「はじめに」～第 4 項「作品との接触、そして批評」）<br/> 第 4 回：映画論・映画批評②（第 5 項「日本の映画批評家の歴史」～第 10 項「津村秀夫」）<br/> 第 5 回：映画論・映画批評③（第 11 項「佐藤忠男」～第 16 項「おわりに」）<br/> 第 6 回：演劇論・演劇批評①（第 1 項「ドラマとは何か」）<br/> 第 7 回：演劇論・演劇批評②（第 2 項「木下順二『子午線の祀り』を読む」）<br/> 第 8 回：音楽論・音楽批評①（序「音楽の解釈について」～第 2 項「近代音楽における時間」）<br/> 第 9 回：音楽論・音楽批評②（第 3 項「近代音楽におけるポエジー」～第 4 項「現代音楽における時間」）<br/> 第 10 回：絵画論・絵画批評①（第 1 項「絵画との対話」～第 3 項「窓の肖像画の誕生」）<br/> 第 11 回：絵画論・絵画批評②（第 4 項「夜の窓」～第 7 項「廃墟の窓」）<br/> 第 12 回：絵画論・絵画批評③（第 8 項『エルベ川の船旅』～第 10 項「窓のポエジー」）<br/> 第 13 回：彫刻論・彫刻批評①（第 1 項「はじめに」）<br/> 第 14 回：彫刻論・彫刻批評②（第 2 項「高村光太郎の彫刻批評と彫刻論」）<br/> 第 15 回：今後の課題——受講生各自による批評活動への展望</p> |                           |      |                    |       |      |
| テキスト   | 芸術批評論                     | 参考文献 | 個々の参考文献はテキストを参照のこと |       |      |
| 評価方法：  |                           |      |                    |       |      |
| 通信授業は提出課題 4 件を以って評価する  |                           |      |                    |       |      |